

第 196 回  
定例探鳥会

日時：2003 年 4 月 13 日 (日) 天候：晴れ  
コース：高来神社 水道山 湘南平

今日は恒例のお花見探鳥会です。コースは先月と同じくレンジャクを探しながら市街地から水道山を通るコースを回ります。

集合場所の高来神社の境内は桜の花びらで雪が降ったように真っ白くなっていました。早くも気持ちだけはお花見モードになってしまいます。レンジャクを探しつつ出発してもなく、高麗山の南面の枯れ木にアオバト5羽を発見！！大興奮のなかメス3羽、オス2羽(内1羽は肩のアズキ色がまだらで若鳥)を確認した。新芽の緑とアオバトのコントラストは本当に美しいですね。このアオバトは南から北への移動中なのか、この付近の越冬個体なのかどちらでしょうか？

またしばらく行くと高麗山の稜線にマヒワの群れが100羽以上が観察されたり、水道山ではヤブサメの鳴き声は何ヶ所かで聞かれた。アオジが木の上に出てきたり夏鳥、冬鳥が交差しているこの時期は大変面白い。お目当てのレンジャクは出ませんでした。登山道に入る付近ではオオタカのオス、メスが旋回していたりと鳥の種類も多く楽しく湘南平に到着。

早々に鳥合わせを終わりお花見に突入。先発隊がいつもの場所を確保してくれてあり、楽しみのお花見が始まりました。1年に1回お酒を飲みながらさわやかな満開の桜の木の下で語り合うのは楽しいことです。(南さん、鈴木さんいつもご馳走をありがとうございました)・・・楽しかったなー！！

参加者		参加人数 35 名 (敬称略)		
1. 木田 ハマ	2. 加藤 卓也	3. 福田 適	4. 下倉 紘一	5. 鈴木 逸子
6. 山田 文則	7. 貞松 嘉子	8. 服部 寛之	9. 石橋 宏明	10. 森田 義雄
11. 鈴木 清	12. 八木 正	13. 小野 肇	14. 松下 弓子	15. 別所 三郎
16. 吉田 宣子	17. 伊藤 武雄	18. 紺 龍彦	19. 清水 哲子	20. 松本 鈴子
21. 山下 勝司	22. 南 博	23. 南 那津子	24. 小谷 茂雄	25. 大坂 英樹
26. 大坂 聖子	27. 大坂 翔人	28. 大坂 研人	29. 五明 賢	30. (田端 裕)
31. (西ヶ谷修一)	32. (岩佐 昌夫)	33. (内山規矩雄)	34. (金子 典芳)	35. (斎藤常實)

見聞きした鳥		種類数 33 種 (ドバトを含む)		
1. トビ	2. オオタカ	3. コジュケイ	4. キジバト	5. アオバト
6. ドバト	7. ヒメアマツバメ	8. アオゲラ	9. コゲラ	10. ツバメ
11. イワツバメ	12. キセキレイ	13. ヒヨドリ	14. アカハラ	15. シロハラ
16. ツグミ	17. ヤブサメ	18. ウグイス	19. エナガ	20. ヤマガラ
21. シジュウカラ	22. メジロ	23. ホオジロ	24. カシラダカ	25. アオジ
26. カワラヒワ	27. マヒワ	28. イカル	29. シメ	30. スズメ
31. ムクドリ	32. ハシボソガラス	33. ハシブトガラス		

## 干潟を守る日 2003 in 花水川

先月号でお知らせした「干潟を守る日 2003 in 花水川」に連携した探鳥会が、4月27日(日)午前6時から行われました。国道1号線の花水橋から上流の平塚大橋までは、探鳥会や観察が頻繁に行われていますが、下流の方はほとんど観察されていません。今回は、花水橋から河口まで花水川沿いに歩きながら、JR鉄橋のすぐ下の中洲とその下流側にできつつある干潟や河口の様子を観察しました。

「花水橋」バス停付近から川沿いの道に降りて河口に向かって歩き出しました。風が強く、気温よりも寒く感じます。川の中に取り残されたように1本のヤナギが立っています。その中程にカラスの巣があり、ハシボトガラスがジッと座っていました。まだ葉が繁っていないときにはハシボトガラスが営巣していたように思うのですが、いつの間にか入れ替わったのでしょうか？



岸辺に広がる石の散らばる中洲(といっても岸とつながっていますが)の上を、2羽のコチドリが鳴きながら飛び回っています。追いかけてっをしているような感じです。ときどき地面に降りて歩き回りながら石ころの上に伏せるような仕草を見せます。抱卵の具合を確かめているようにみえます。繁殖のための行動でしょうか？胸の黒線の濃さが違って見えるのは と の差なのでしょうか？イソシギも飛んできて、水辺の辺りを尾羽を振りながら採餌しています。

国道1号線を渡り、川の上を通っている電線を見ると数羽のカワウがとまっています。そのうちの1羽にはオレンジ色の「N4」と書かれた標識がついていました。調べたところ脚環番号から、このカワウは第六台場で2000年3月8日に標識したものだとは判明しました。ふと上空を見上げると、30羽くらいのカワウがカギ型の編隊を組んで西から東のほうへ飛

んでいきました。大きな鳥の大編隊は迫力があります。

ヒメアマツバメやアマツバメも飛び交っていました。

JRの鉄橋まで来ると100羽くらいのカワウがにぎやかに鳴きながら飛びまわっていました。よく見ると鉄橋の下側の溝状の窪みから出たり入ったりしています。真っ暗でよくわからないのですが、望遠鏡でジッと覗いてみると巣が作られており、そこに座って抱卵している様子が見えました。溝の入り口は狭いのですが奥の方は広がっています。これならばカラスやヘビなども近づけないので、列車が通過する騒音が気にならなければ絶好の営巣場所です。そのうちにもっと数が増えて大繁殖地になるかもしれません。

鉄橋の下から下流側には中洲が広がっています。数年前は土の裸地だったのですが、ヤナギや草などが茂って全体を覆うようになりました。ホオジロやアオジがチラチラと姿を見せていました。オオヨシキリの大きなさえずりが聞こえ始めました。花水川での初認です。茂みを探すとアシにとまって大きな口を開けてさえずっている姿が見えました。そのうちに全身が見えるところに出てきてくれて、真っ赤な口の中まで観察できました。中洲の先端から下流に向かっては泥で浅くなって干潟のようになっている様子が見られました。時間が経ってもっと広がり、ゴカイやカニが棲みつくようになれば、シギ、チドリが飛来するようになるかもしれません。





ここから河口までの間では鳥の姿はあまり多くありません。カルガモのペアが水面に浮かんでいたり、アオサギやコサギがジッとたたずんでいました。コサギは目の先がわずかにピンク色に変わっています。繁殖の季節なのですね。

河口に着くと、砂浜の少し先の海の上を20～30羽のコアジサシが、ときどきダイビングしながら西から東の方へ移動していきました。キリッキリという声もよく聞かれました。

沖を眺めていると、遠くて種類は判別できないのですがウヤカモが群れで飛ぶ姿が見えます。

花水橋から河口まで歩いてみました。花水橋から上流の方とは川の様子も違っていますが、草の茂った中洲やできつつある干潟が見られ、野鳥の飛来、棲息が期待できそうです。見守っていきましょう。

## なるほど・ザ・野鳥 (No.9)

野鳥たちの不思議な行動や生態のおもしろい話をインターネットなどから集めています。それらの中から一つか二つずつを紙面に余裕があるときにこのコーナーで紹介していきます。

### (11) 本当にワシづかみをします - 猛禽類の脚

鳥の脚はその種類や生活様式によってさまざまに変化に富んでいます。鳥における脚の役割は走ったり、歩いたり、枝にとまったり、泳いだりといったことだけではなく、ヒトの手に代わる役割、例えばエサをつかんだり、身体をかいたり、さらに攻撃や防御としても大きな役割を持っています。一般にワシやタカ、フクロウなどの猛禽類の脚は歩くことよりも獲物をつかむのに適しています。さらに足指の先には内側に向けた鋭い爪があり、この脚と爪でかなりの大きさの獲物をつかむことができます。

全長約80cm、体重約4.5kgのイヌワシはエサとしてノウサギ、キジ、さらにはカモシカの幼獣(体重約3kg)などを捕らえることが知られていることから、その脚の強さはかなりのものであることがうかがえます。しかし同じ猛禽類でも、コンドルやハゲワシなどの死肉を主食とするものでは、脚は捕食性の猛禽類に比べ、さほど強くはありません。

### 【お知らせ】

吉沢・鷹取山自然観察会 - 第46回 市民探鳥会 -

オオルリ、キビタキ、センダイムシクイなど夏鳥が姿を見せ、多くの木や草の花が咲いています。

ハイキングには絶好の季節となりました。野鳥を中心に草花、きのこ、昆虫など自然を観察しながら、新緑も鮮やかな大磯・平塚の丘陵を歩きましょう。

日時：5月18日(日) 9時から。15時頃に松岩寺で解散(予定)。雨のときは中止です

集合：午前9時 東の池 ... 神奈中バス「生沢」バス停前

午前8時 JR平塚駅北口 地下道入口付近 (8:30発のバスに乗ります。都合のよいバスはこの一本だけですので、遅れないようにお願いします)

コース：東の池 谷戸川 鷹取山 霧降の滝 松岩寺

持ち物：飲み物・お弁当(必ず)、双眼鏡、図鑑、筆記用具、帽子、タオルなど

注意：集合と解散の場所が異なりますので、車の場合はご注意ください

連絡先：岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

## 鳥報

### アオバト情報

今年も照ヶ崎にアオバトが姿を見せ始めました。

飛来の初認は4月19日(土)8:00頃です。1羽が磯に降りたのを釣りをしていた人が確認しました。海水吸引の初認は5月4日(日)6:25です。その後もまだ数は少なく群れも小さいですが、岩場に飛来したり海水を吸飲するところが見られています。アオバトの季節の到来です。

照ヶ崎以外でも、鷹取山、吉沢、山北、塩水林道などで群れで飛ぶ姿や鳴き声が観察されています。

#### こまたんメンバーのフィールドノートから

オオルリ : 4/14 谷戸川、2ヶ所でさえずる。4/26 青葉区奈良町。吉沢、鷹取山でも観察されている

キビタキ : 4/26 茅ヶ崎・腰掛神社。4/28 鷹取山。4/28 山北、2羽

センダイムシクイ : 4/16 谷戸川、初認。4/17 吉沢。4/18 高麗山。4/26 茅ヶ崎・里山公園

クロツグミ : 4/18 高麗山、さえずりを聞く。4/30 山北

アオバズク : 4/19 下吉沢、鳴き声。高麗山の麓でも声が聞かれている

コマドリ : 4/23 鷹取山、1羽。4/28 鷹取山、2ヶ所で声を聞く

サンショウクイ : 4/26 茅ヶ崎・里山公園。4/30 山北

コルリ : 4/28 鷹取山、3ヶ所でさえずりを聞く

ツツドリ : 4/30 山北・不老山。5/1 塩水林道

コサメビタキ : 5/1 鷹取山

ミゾゴイ : 5/4 谷戸川

マヒワ : 5/1 日宮山西側、400+の群れ。5/1 霧降の滝、約60羽、地上で採餌および水浴び

ヒヨドリ : 4/28 8:00頃、茅ヶ崎・松林、1000羽以上の大群が南から北へ移動

エナガ : 4/30 鷹取山、幼鳥3羽、自力で採餌

アカハラ : 4/30 鷹取山、さえずりが聞かれた

ツバメチドリ : 5/2 酒匂川、2羽(開成)、2羽(蛸田)、上空を飛ぶ

チュウシャクシギ、キョウジョシギ : 照ヶ崎の岩場で観察されている

### 【お知らせ】

#### 定例カウント調査

吉沢・松岩寺 & 土屋・遠藤原 2003年6月7日(土)

生沢・鷹取山 2003年6月14日(土)

**午前6時**に高麗ハイツ隣の駐車場に集合。12時頃に集合場所に帰ります。雨天中止。

特に持ち物は必要ありません。

**集合時間が夏時間で1時間早くなっていますので、参加される方はご注意ください。**

連絡先: 岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2003年6月8日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第195号 / 5月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www2u.biglobe.ne.jp/komatan/>  
日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmj.or.jp/wbsj-k/>